

統合ソリューションの概要：

CA PPM と CA Agile Central



概要

ビジネスと財務の計画には明確な洞察が不可欠です。アプリケーション・エコノミーによってビジネスのペースがますます速くなる中、すべてのリソースとイニシアチブへの可視性がきわめて重要になっています。企業はビジネス戦略と業務の実行を結びつけながら、投資とROIを把握できる統合ソリューションを必要としています。CA Project & Portfolio Manager (CA PPM) と CA Agile Central (旧 Rally) の統合ソリューションは、アジャイル・チームの作業をエンタープライズ・ポートフォリオと関連づけることで、アジリティとガバナンスの効果的なバランスをとるために役立ちます。ポートフォリオで実行されている、あらゆる種類の作業について1つの統合ビューで表示できるため、ポートフォリオ・マネージャとビジネス・リーダーは明確なビジネスの視点を持つことができ、予算を監視しリソースを最適化して最大の価値を提供できます。

主なメリット / 成果

- アジャイル、ウォーターフォール、ハイブリッドといった、あらゆるデリバリ技法にまたがり**ポートフォリオの投資判断を統一**できます。
- エンタープライズ規模のアジャイル・プラクティスによって、**タイムツーマーケットを短縮**し、予想どおりに価値を実現できます。
- アジャイル・デリバリ・ステータスとリソースの割り当てをビジネスの観点から把握することで、**ポートフォリオの選択に関する適切な判断**が下せます。
- CA PPM と CA Agile Central の間での双方向のステークホルダー固有情報の共有と、タイム・トラッキングによって、**時間を節約**できます。

主な機能

- アジャイル・チームのビジネス成果物とリソースの割り当てについて**状況を把握**できます。
- ポートフォリオに対する資金調達とアジャイル・デリバリを結びつける**ことで、アジャイル・チームを最も価値の高い投資に集中させます。
- アジャイル・チームによる**漸進的な価値の提供を監視**し、最も必要なところに資金を振り向けられます。
- ツール間の**双方向の情報共有**によって、ポートフォリオ・マネージャと財務マネージャは時間とリソースをより効果的に管理できます。
- 1つの包括的なダッシュボード**に企業全体のポートフォリオの機能とイニシアチブの詳細を表示でき、必要な情報の要件に合わせてカスタマイズできます。

ビジネス上の課題

アジャイル・ソフトウェア開発プラクティスを採用して、タイムツーマーケットと価値提供のスピードアップを図る組織が増えています。しかしこうした採用の増加にもかかわらず、多くの人はアジャイルが企業にもたらす真の価値を認識できていません。現在の財務モデルはアジャイル・チームの作業の資産化を妨げており、プロジェクト管理オフィス (PMO) は正確なリソースの割り当てに対する洞察が限られたままです。すべての業務にわたる透明性をないため、PMO が業務コストとデリバリのメリットの全体像についてレポートすることは困難です。そのため、ポートフォリオ戦略と提供されている作業の価値の間で、断絶が大きくなっています。その結果、作業のサイロが生まれ、間に合わせのアプローチで実行と価値に関する問題を解決しようとするものが多くなります。

また、財務チームおよびアジャイル・チームは、リソースとプロジェクトを刷新してポートフォリオ、リソース、コストの制御を取り戻そうとしますが失敗に終わり、この断絶の責任を問われることとなります。企業にとってはスタッフ、プロセス、ツールの間での断絶は根本的な妨げとなります。

ソリューションの概要

CA Technologies は各チームのビジネス成果物とリソースに対する可視性を提供することで、企業がアジャイル・プラクティスを楽に採用でき、プロジェクトのポートフォリオ全体を管理するために役立つ、実績ある方法をお届けします。デリバリ・チームとビジネスの優先事項を結びつけ、増大するビジネス・ニーズをキャパシティと結びつけることで、これらのソリューションは計画が現実的で価値があり予測可能なものになるよう支援します。この統合ソリューションを使用することで、企業は以下が可能になります。

- ポートフォリオ全体で適切なイニシアチブの優先順位を判定し資金を投入できるような、一元化された場所をビジネス・リーダーに提供できます。
- ポートフォリオへの投資をビジネス・イニシアチブの実行と簡単に結びつけることができ、アジャイル・チームのビジネス・インパクトを最大化するようスピードアップできます。
- 多数の分野と開発チームにまたがり、わかりやすい実用的な洞察を得られる分析を提供します。
- 戦略および投資計画をすべての作業チームに伝え、より効果的に作業を整合させるために、迅速なフィードバック・ループを確立できます。
- 財務面の説明責任と、アジャイル・デリバリのためのコストの資産化を正確に予測できます。
- 作業アプローチがアジャイル、ウォーターフォール、ハイブリッドのいずれであっても、多数のステークホルダーにとって適切なレベルの可視性を確保し、カスタマイズしたポートフォリオ・ダッシュボードにアクセスできます。
- 各チームの作業の貢献内容について包括的に比較するために、状況報告を収集できます。

重要な差別化要因

より優れた、事実に基づく意思決定

CA PPM でのポートフォリオ投資の一元化によって、ポートフォリオ・マネージャは洞察と可視性を強化でき、利用可能な予算とリソースによって投資に関する意思決定を最適化できます。

重要なアジャイル採用環境の確立

アジャイル・チームはエンタープライズ規模のアジャイル・プラクティスを活用して作業を調整でき、高品質で予測可能なデリバリによってビジネス成果を改善できます。

単一の統合ダッシュボード

ポートフォリオの一元的なビューによって、PMO はあらゆるプロジェクト・タイプのステータス、コスト、ビジネス成果物、リソース使用率を正確に把握できます。

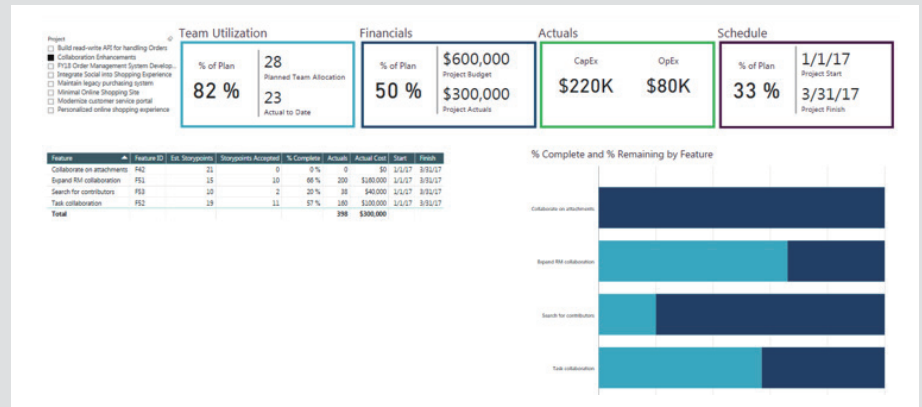
アジャイル・チームからのビジネス成果物を確認

アジャイル・チームは価値提供に専念でき、その間、統合ソリューションが CA PPM でビジネス成果物を自動的に表示します。

時間のかかる不正確なレポートを排除

CA Agile Central がアジャイル・ステータスを自動的にビジネス用語にまとめるため、PMO はアジャイルの進捗を手作業で追跡する必要がなくなりました。

ビジネスの可視性を提供するダッシュボード人員数、資金調達、提供される価値に対して完全な可視性が得られるダッシュボード・メトリクスによって、投資のポートフォリオ全体をあらゆる角度から把握できます。



すべてのチームのリソース割り当てを表示

リソース・マネージャはアジャイル・プロジェクトもアジャイル以外のプロジェクトも含め、投資に対するリソースの割り当てを完全に把握できます。

PPM とアジャイルの間の双方向のインテリジェントな接続

この統合ソリューションは、ビジネス戦略が優れた実行につながるための単一の直観的なダッシュボードを提供することで、洞察を成果に結びつけます。

詳細については ca.com/jp/agile をご覧ください。

CA Technologies (NASDAQ : CA) は、企業の変革を推進するソフトウェアを作成し、アプリケーションケーション・エコノミーにおいて企業がビジネス・チャンスを獲得できるよう支援します。ソフトウェアはあらゆる業界であらゆるビジネスの中核を担っています。プランニングから開発、管理、セキュリティまで、CA は世界中の企業と協力し、モバイル、プライベート・クラウドやパブリック・クラウド、分散環境、メインフレーム環境にわたって、人々の生活やビジネス、コミュニケーションの方法に変化をもたらしています。詳細については ca.com/jp をご覧ください。